

# 障がい者雇用先進企業視察 -日本理化学工業

2016年03月09日 日本理化学工業株式会社

学校の授業等で使っているチョークの国内シェアトップである日本理化学工業社は、従業員の7割が知的障がい者（うち半数以上が重度の障がいを持っている）だが、看板商品であるチョークの製造ラインはわずか13名で、その全員が障がいを持つ従業員で担当し、1日10万本ものチョークを作り上げている。各工程には、グループから選出された「班長」が中心となり、グループ各員をまとめて作業を進めている。



製造ラインは、様々な工夫がされている。色の判断はそれぞれの色の材料袋と同じ色の缶を用意、時間を図るのは砂時計、重量を図るのは同じ色のついたおもりと秤を使用、計測はオリジナルの計測盤や計測工具を使用する等、理解力・能力にあわせるよう、全行程を見直し、工具の改善・工夫を行い、工場全体を改革したという。